



こんにちは

# 村田 けい子 です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

2017  
10.20  
No 124

## 14日、山本太郎さん、ゆか候補、応援に駆け付ける！

衆院選挙3区小金沢ゆか統一候補の応援に東京から自由党参議院議員・山本太郎さんが駆けつけ、10時からの浅間中西交差点は100人を超える街頭演説になりました。10時50分からは臼田でも演説、森友・加計問題、アベノミクスなど数字を上げた説得力ある演説に、「安倍政治を止めなければいけない」の思いを強くしました。

最初の演説場所の岩村田・浅間中西交差点では、「どこの党を応援したらいいか？迷ったときは共産党しかない！」「比例は共産党。これで決まりです」と冒頭から強調しました。

小金沢候補へのエールも「東日本大震災から自身が変わったという小金沢さんとは、気持ちが共通している」と励ましてくれました。SNSや佐久地域市民アクションのみなさんの呼びかけなどで、大変大勢のみなさんが駆けつけてくれました。この後、山本議員はツルヤ臼田店で小金沢候補と街頭演説をおこない、その後は4区の毛利栄子候補、5区の曾我逸郎(無所属)候補を応援しました。

元気な山本太郎議員の応援演説に参加者は、「よしガンバロウ！と元気を奮い立たせていました。私もすぐ立科にもどって5時半からのツルヤ前のスタンディングに参加し、プラスターを掲げて日本共産党への支持を訴えました。選挙戦に入ってから、ハンドマイクが使えず、メガホンで「比例は日本共産党をお願いします」と訴えるのみ。でも車からの手ふりやクラクションに励まされながら、頑張っています。

政権与党に300も取らせて良いのか、憲法を変える3分の2を取らせて良いのか、電話でも必死に訴えています。皆さんも、ぜひ、ご支持を広げてください。



藤岡義英県議の撮影 10.14 浅間中学西交差点

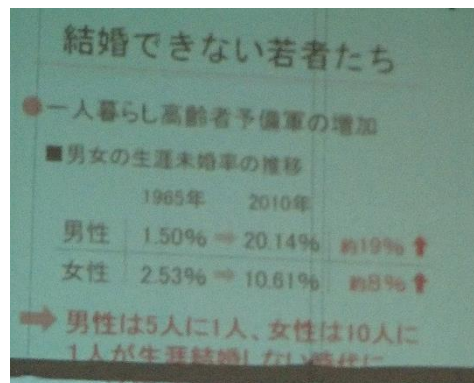
募金のご協力をお願いします。  
新聞折り込みに30万円掛かるそうです。  
ぜひ、ご協力をお願いします。

### ●お知らせ●

10.21 (土)  
国際反戦デー  
市民交流広場



15:30~ 集会 街頭スタンディング  
18:00~ 佐久教育会館 講演会  
金 治明(キン チヨウ)さん  
「辺野古基地を作らせない非暴力直接行動」の  
先頭に立つ、辺野古カヌー隊の船長



結婚できない  
若者たち

今週の  
パチリ

以前は結婚が当たり前、1965年非婚率は男性1.5%女性2.53%。今は(2010年)「男性の20.14%、女性の約10.61%が非婚」という数字に愕然！！結婚したくてもその余裕もなく機会もない。長時間過密労働に疲れ果てて出会いと気持ちが持てないのが大きな原因では。我が家も他人ごとではありません。

# 10.15 第60回長野県母親大会に参加

記念講演は藤田孝典さんの

## 「一億総下流化社会 ～人権と社会保障を考える～」

茅野市の永明小学校を会場に、長野県母親大会が開かれ参加しました。記念講演に先立つ分科会、「縄文のビーナス、仮面の女神に会いにいこう」に抽選で当たって初参加。国宝に指定された2つの女神に会えました。長野県は日本の中でも北海道に次いで2番目に縄文遺跡が多く、なかでも八ヶ岳山麓で多く出土され、日本の中でも極めて早くから人が住み着き暮らしていたことが判明。

縄文時代の瓶なども多く展示され、素朴ながらも力強い造形に魅せられました。



1986年発見、95年に国宝に指定された縄文のビーナス。仮面の女神は2000年発見、2014年国宝指定された。

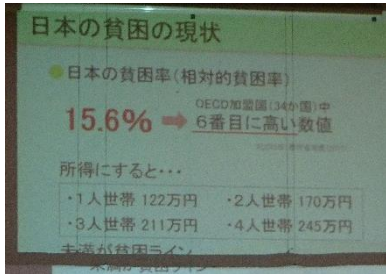


仮面の女神の作り方の解説模型

午後からは記念講演、「下流老人」の著者である藤田さんの講演で、数字を挙げての具体的な暮らしの実態に、会場からはため息が。いまや日本の貧困率は15.6%。

6人に一人が貧困家庭。年収にすると一人世帯122万円、2人で170万円、3人で211万円、4人世帯で245万円・・・。

特に若者の世帯、高齢者の世帯で貧困家庭が多く、母子家庭の5割が該当するとの指摘。OECD参加国の中で6番目に貧困率が高い国、国民の貧困化格差が開いているとの指摘。高齢者の19.4%、2人に1人は貧困家庭で病院にかかれない、家賃が払えないなど深刻な実態が生まれています。賃金は下がりっぱなし、「安倍政権は多くの貧困家庭を生み出した」の指摘に「政治を変えねば」と強く思ったことでした。



# 10.12 川西日赤病院の視察研修・・・地域になくはない病院



断層撮影が可能なMRI

今回、川西保健衛生組合の議員が新しく改選されたことを受けて、川西日赤病院の視察研修会が行われ参加しました。川西赤十字病院は、立科町、東御市、佐久市が参加している組合病院で、地域の医療を支えている重要な病院です。

全国的にも医師が不足する中で、この病院では、常勤の医師を4人、確保していますが、外科などの医師が不足し、十分なニーズに応えられていません。

経営的にも、改善努力を続けていますが、去年は黒字となったものの、なかなか厳しい状況が続いているとのことです。

当日は少し説明を受けた後、院内を見学、MRIやレントゲンのおなじみの設備の他、血液の分析器など珍しい機器も見せてもらいました。ナースステーションでは、ドクターや看護師さんが、てきぱきと忙しく働いていました。



レントゲン機器

経営改善のために、介護保険の対象になる療養型のベッドを新たに設け、手術をしたが一人で自立して暮らすにはまだ加療が必要な患者さんたちの受け入れができるようになっていきます。

立科町の患者さんには、病院からバスが出ています。一度診察を受けてから通院が必要な方は、バスの利用ができますので、(無料)ぜひ利用してほしいとのことです。透析患者の受け入れも要望しましたが、「要望を受けて検討しましたが、ニーズを満たすには透析のベッドは



血液の分析器

10床は必要で、ドクターも必要なので断念した」とのことでした。医療機器も日進月歩でどんどん進歩しています。機器の更新なども必要ですし、医師の確保は緊急課題です。いずれにしても地域で支えていかねばならない病院であることを、再認識しました。